



つながっていこう！ ふんばっていこう！ みんなで集おう！ 全国保問研集会・山形集会

かりそめに死者二万人などといふなけれ 親あり子ありはらからあるを
人々の嘆きみちみつるみちのくを 心してゆけ桜前線
(長谷川權「震災句集」)

「東日本大震災」の発生から約2ヶ月。被災地の惨状にふれるとき、地震・津波・原発事故と、その被害の大きさに圧倒されます。改めて、犠牲となられたみなさんのご冥福をお祈り申し上げるとともに、復興がかすむことを願わずにはおれません。こうしたなか、「第50回全国保育問題研究集会・山形集会」まで、あと1カ月となりました。

全国の保育・幼児教育関係者のみなさん！ 研究者のみなさん！

「大震災」の影響でのさまざまな心配が重なり、なかなか申し込みの手續きにこぎつけないままにお過ごしの方も多かったのではないのでしょうか。幸い、山形は「大震災」の影響もほとんどなく、会場・ホテルともに予定通り使用できます。交通機関も順調に復旧しつつあります。原発事故だけは引き続き予断を許しませんが「小康」状態にあります。もちろん、これからも余震の心配はありますが、多くのみなさんに参加いただき、「被災の中で奮闘されているみなさんと連帯し、地域のくらしの復興の枝としての保育所・幼稚園の役割を鮮明にし、保育内容を深めること」「大震災直後のドサクサのなかで保育制度改悪の動きが風雲急を告げていることに、現場からの声を高らかにあげること」が今、大切です。このため、集会のテーマも『震災などからの復興』に変更しました。



全国の仲間のみなさん！

この間、「大震災だからイベントの自粛を」との声がありました。でも、こうした時だからこそ、全国保育問題研究集会と保問研が「戦争」「台風」「地震」などの中で復興の核となってきた取り組み学び、話し合い、被災された皆さんとつながり、全国の子ども達が未来の光となる保育実践をこれまで以上にすすめる決意を交流することが必要です。まだ、参加申込はできます。現地では開催の準備が着々とすすんでいます。みちのく・山形までのアクセスの悪さを乗り越え、「大震災」をはねのけ、全国の保育者・幼児教育関係者、研究者の熱い思いを寄せ合いましょう。ぜひ、誘い合ってご参加下さい。



2011年5月 第50回全国保育問題研究集会・山形集会実行委員会





山形さ、きてけらっしやい！ No.7

復興支援の上映会を行います！



① 伊勢湾台風の復興の中での保育所作りとその保育実践について
「レンガの子どもたち」の上映会と河本ふじ江さんのお話
6月3日(金) 午後7時15分～市民会館小ホールにて

② 「地球交響曲 第6番」の上映
6月3日(金) 午後7時15分～市民会館大ホールにて

いずれもチャリティ企画とし、一般市民の参加も訴えて
いきます。ぜひ、こちらも楽しみに山形へ来て下さい！



特別講座Jが企画変更となりました

実践記録を通して「ねばっこく」学ぶ ～仙台保問研の草創期のころ～

1962年比叡山で第1回の全国保育問題研究集会が開かれました。仙台でも保問研の活動が始まった1963年の草創期のころ、仙台保問研の先輩たちは仕事を終えた夜に集まり、実践記録をもちより学び合いました。その頃の熱い思い、今に通じる実践をお話していただきます。

講師 大和田 尚子さん

プロフィール

1954年11月 宮城県町立保育所に保母として勤務

1965年4月 仙台市立保育所に保母、所長として勤務

1980年4月 仙台市行政業務(保育課・児童課他)に係長、主幹、課長として従事

1996年3月 定年退職後専門学校、大学にて保育士養成に関わる

現在 社会福祉法人 北杜福社会理事

社会福祉法人 仙台はげみの会評議員

仙台保問研も運営委員を中心に山形集会へ向けて活動を始め、お誘いの声掛けを
広げています。全国のみなさんと会える事を楽しみにしています！！

